

新ひだか町立三石中学校 学校経営方針

～三石中らしさのある教育の創出～

1 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、豊かな心を持ち、自らたくましく生きる生徒の育成をめざし、これまでの教育目標を継承しつつ、ただし、今日的な教育に係る社会のニーズに変化が見られることから、適否等も検討しつつ、「子どもに身に付けさせたい力」を明確にして具現化する。

- 自ら磨き続ける生徒 →創造力を持ち、進んで学習する生徒を イメージ
- 強い意志と広い心をもつ生徒
- 信頼と責任を大切にす生徒 } →豊かな心を持ち、進んで行動する生徒を イメージ
- 命をいたわり健康な生徒 →生命を大切にし、心身ともに健康な生徒を イメージ

2 めざす学校像 <<生徒が登校を楽しみにするとともに、教職員が指導に喜びをもてる学校>>

- さわやかな「挨拶」で始まる明るい学校
 - どの子も「落ち着いて学習」に取り組める学校
 - 人間としてお互いに尊敬し、尊重し合う「温かな心」の通う学校
- ※生徒の意識調査により、「楽しいと感じない生徒」が増加している実態を改善すべき視点と捉え、「楽しいと感じる生徒」の割合を大幅に増加させる工夫・改善を徹底させる。

3 めざす教員像 <<教師という仕事に感謝と喜びを持ち、従前の指導観を脱却し、生徒が自ら学ぼうとする今日的な教育活動を展開する>>

- 生徒に「学ぶ姿勢」を適切に指導し、生徒が自ら「わかる授業」を構築し実践する教師
- 生徒の「良さや可能性」を引き出すため、絶えず指導方法や内容を「研究・研鑽」する教師
- 「保護者とともに」子育てについて共通理解を深め、信頼される人間味のある教師

4 令和3年度の基本的な方向性

(1) 学校運営

- 教頭を中心とした、迅速な意思決定と的確・効率的な学校運営を推進させる
- 主任等のリーダーを中心とした組織的に学校運営を推進し、特定の人に業務が集中しないようにする
- CSの委員やPTA等の意見要望を踏まえ、学校改善のマネジメントサイクル(PDCA)を全教員が意識し、同じ目的の方向を向いて業務を推進する ⇒ 協働して仕事をする
- 限られた配分予算内で、計画的かつ効果的的な予算執行を適正に行い、極力無駄を省く

(2) 指導重点目標 <<全ての教育活動を通してはぐくむための3つの視点>>

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 自己肯定感(有用感)を高められる教育活動の展開2 自己表現ができる教育活動となるよう展開を工夫・改善する3 基礎学力を確実にはぐくむ適切な学習指導の展開 |
|--|

- ①自主・自律をすべての教育活動で実践する能力→『自己肯定感/有用感』を醸成する
- ②各種集団における交流能力→『自己表現/コミュニケーション能力』を醸成する
- ③社会・文化的、技術を相互作用的に活用する能力→『基礎学力の確実な習得・活用能力』の定着

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">A 何を学ぶか (学ばせるか)B どのように学ぶか (学ばせるか)C 何ができるか (できるようにさせるか)D どのように変容するか (させるか) |
|--|

★4つの視点を全ての教育活動で意識する★